

# 私にも 言わせて! 第128回

## 「天意重夕陽 人間貴晚晴」を心に、 ふるさとでの保健医療福祉行政に 灯をともしたい



宮崎市健康管理部参事  
兼 宮崎市保健所副所長  
**門内 一郎**

平成9年自治医科大学卒業。「考えたように生きなさい」をモットーに、さまざまな経験を経て令和4年4月より現職。医学博士。日本整形外科学会専門医。私生活では、令和元年より舞台俳優に目覚め、今年は4本の舞台に出演予定。

日本の中世芸能である幸若舞の演目「敦盛」の有名な一節「人間五十年」。その年齢となった私が「期待の若手」として書かせていただくのはいかがなものかと思いますが、「四十、五十は凄垂れ小僧」といいますことから、好き勝手に生きてきた自分の人生を振り返りつつ、筆を執らせていただきたいと思います。

### 医師を志す原点

私は生まれも育ちも宮崎県宮崎市ですが、父方の実家は宮崎県串間市市木という、サルの子息地である幸島があることで有名な所にあります。そこは私の小さい頃から、今でもほとんど風景が変わらない自然豊かな所で、プライベートビーチかと思わせるような素敵な砂浜のある所です。

そのような場所ですから、最も近くの病院まで、曲がりくねった海岸沿いを1時間以上かけて行かなくてはなりませんでした。幼少時に脳卒中で倒れた祖父が、みん

### 地域医療ならではの豊かな経験

なに担がれながらセダンタイプの車に乗せられ、病院まで連れて行かれる姿を見て、住み慣れた場所で医療を受けながら生活できたらよいのにと感じたことが、私の医師としての原点だったと記憶しています。そして、その思いはずっと残り続け、また実家が医学部に行かせられるほど裕福ではなかったことから、迷わず自治医科大学への進学を決め、無事、平成9年に医師となることができました。

大学卒業後は、県立宮崎病院に

### 第1次公衆衛生マイブーム

その地域医療の中で、外傷における骨欠損などを診ることがしばしばあり、ちょうどその時代が再生医療研究の全盛期であったことも相まって、骨再生の基礎研究が

できない可能性があったのですが、きつと何らかの力で引き合わせていただけたのでしょうか。感謝です。研修後の生活は、皆さんご存じのようにCOVID-19対応に追われる日々でした。疫学調査、日々の健康観察に外来・入院調整、患者搬送など、非常に多岐にわたる業務が24時間休みなく繰り返り広がっていました。知人からは、「どうしてそんな忙しいことが分かってる中に飛び込んだの?」とよく聞かれました。しかし、私としては、そんな状況だからこそその中へ飛び込み、これから一緒に働くであろうスタッフと共に普通ではできないことを経験し、同じ釜の飯を食った仲間として頑張っていかなくは意味がないという思いからの行動でした。

さて、ようやく公衆衛生に足を踏み入れた私に最初に待っていたのは、国立保健医療科学院の素晴らしい仲間たち、手を変え品を変えさまざまな方法で最高の教育をしてくださった科学院の先生方や学外講師陣の方との交流は本当に一生の宝物になると確信しています。本来であれば、COVID-19の影響で4年度の研修には参加

生の重要性が注目されるようになってきました。私も50歳を目前として、残りの人生をどのように生きていこうと考えていたところで、育ててくれた地元宮崎への恩返しも兼ねて、人生の大転換期をここで迎えてみようという決断に至りました。そこで、再び公衆衛生医への挑戦を決意し(第2次公衆衛生マイブーム)、大学の先輩である瀧口俊一宮崎県中央保健所長に相談して、令和4年4月より宮崎市保健所にて勤務することとなりました。

さて、ようやく公衆衛生に足を踏み入れた私に最初に待っていたのは、国立保健医療科学院の素晴らしい仲間たち、手を変え品を変えさまざまな方法で最高の教育をしてくださった科学院の先生方や学外講師陣の方との交流は本当に一生の宝物になると確信しています。本来であれば、COVID-19の影響で4年度の研修には参加

のような大規模自然災害に対する健康危機管理をメインテーマとしつつ、地域医療で培ったゆりかごから墓場まで、地域全体の保健医療福祉行政へ貢献できるように努めていきたいと思っています。

### おわりに

今回の表題に付けさせていただいた「天意重夕陽 人間貴晚晴」(天意夕陽を重んじ、人間晚晴を貴ぶ)は、渋沢栄一氏が座右の銘としていたにしえの詩で、「一日懸命に働き、沈まんとする夕日の美しさは格別である。人間も年とともに佳境に入り、晩年になるほど晴れ渡っていく人生を送るのが尊いこと」という意味になります。私も若いうちは欠点だらけだったかと思えますから、せめて人生の後半は志己利他の心で、公衆衛生医として宮崎市民の健康を守るために邁進していきたいと思っています。

最後に、私の自由奔放な人生について書いてくれている妻への感謝をここに記し、筆をおかせていただきたいと思っています。

### 第2次公衆衛生マイブーム

治療に来て12年がたった頃、COVID-19の流行により公衆衛